

# 多摩消防団だより

第12号  
発行  
平成25年7月吉日  
多摩消防団広報部  
印刷  
井上印刷所



多摩消防団長  
松澤喜義

多摩消防団も平成二十五年度は十七名の新入団員を迎え、本団役員、稲田・生田の両分団長、副分団長、分団部長、各班長が新しい体制になりました。

本年は消防団の原点に戻り、地域の安全はもとより、「多摩地区の為に消防団に入り一緒に頑張りたい」という信頼される消防団をめざします。

第一の目標として七月十四日に明治大学の会場で行われる多摩消防大会です。また各町内会、自治会を始め、消防行政に関わる諸団体の皆様に大変お世話になります。

本年も消防署と消防団は両輪のごとく頑張ります。

多摩区が災害が無い平和な年になりますようお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



多摩消防署長  
松野 忍

平成二十五年四月一日付けで着任いたしました松野でございます。

多摩消防団におかれましても、四月一日付けで消防団員の交代が行われ、本団、各分団及び各班の幹部昇任者二十五名、及び、新たに十七名の新規消防団員を迎え、松澤喜義団長のもと新体制となりましたが、地域の皆様を始め、消防団の皆様におかれましても、前任者同様よろしくお願い致します。

退団された団員の皆様には、永年に亘り地域の安全確保にご尽力を賜り有り難うございました。紙面をお借りいたしましたので、心から御礼を申し上げます。

さて、阪神淡路大震災、東日本大震災をはじめとする各種大規模災害では、残念ながら多くの尊い人命が失われましたが、各地の消防団員の皆様は、自らの生命を顧みず、地域住民のため懸命な活動を行って頂いた結果、多くの人命が救われており、地域の住民の消防団員皆様に対する信頼と期待は、益々高まっています。

これからも信頼と期待に応えるべく、今後とも消防団と消防署が一致団結して、多摩区民の皆様の安全と安心を守って参りたいと考えておりますので、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 辞令交付式

四月二十日、多摩消防署講堂にて、辞令交付式が行われました。

本団及び生田・稲田両分団で体制が新しくなり、新班長や新入団員に対して、松澤喜義団長から辞令が渡されました。

また、二十八年間勤められた元庶務部長の三平等さん、二十二年間勤められた元警護部長の中山浩さんをはじめ退団された方々に対しても辞令が渡されました。永年に亘りありがとうございました。

## 多摩消防団役員

- |      |       |
|------|-------|
| 団長   | 松澤 喜義 |
| 副団長  | 井田 哲芳 |
| 副団長  | 増田 朝光 |
| 庶務部長 | 井口 保  |
| 警護部長 | 関 喜範  |
| 消防部長 | 吉澤 偉臣 |
| 広報部長 | 井田 久  |

## 稲田分団役員

- |      |        |
|------|--------|
| 分団長  | 木幡 義幸  |
| 副分団長 | 樋山 満   |
| 副分団長 | 大貫 欽也  |
| 分団部長 | 手塚 貴久  |
| 分団部長 | 田村 賢太郎 |
| 分団部長 | 吉澤 久裕  |
| 分団部長 | 飯嶋 利幸  |
| 分団部長 | 榎田 良光  |

## 生田分団役員

- |      |        |
|------|--------|
| 分団長  | 木下 新一  |
| 副分団長 | 石川 秀明  |
| 副分団長 | 遠藤 厳留  |
| 分団部長 | 松本 勇   |
| 分団部長 | 小金 亘   |
| 分団部長 | 漆原 英樹  |
| 分団部長 | 萱守 重次郎 |
| 分団部長 | 高橋 幸治  |
| 分団部長 | 齊藤 嘉章  |





### 稲田分団分団長

木幡義幸

この度、四月より稲田分団分団長を務める事になりました。

今までの経験と諸先輩方から学んだ事をもとに、稲田分団を盛り上げ、そして多摩消防団と本団の方々と連携を取りながら、稲田分団をまとめてゆきたいと思えます。

団員の皆様におかれましては、仕事をもちながらの貴重な時間をさいての消防団活動に、ご協力いただきありがとうございます。

又、各地域の皆様におかれましては、日頃より消防団活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度も稲田分団九十六名で力を一つに合わせ、事故、怪我の無い活動にして行きますので、よろしくお願いたします。



### 生田分団分団長

木下新一

今年、生田分団分団長の大役をお受けすることになりました。木下新一と申します。

諸先輩方が、築き上げてきた伝統ある生田分団の分団長の重責に負ける事なく、生田分団分団長として、日々精進してゆきたいと思えます。

最近では、東日本大震災の後、大震災等が懸念されており又、ゲリラ豪雨などの水害等も発生するなど、そのような災害時には、署、本団の方々と連携をとり活動してゆきたいと思っています。

今後とも諸先輩方には、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

### 消防団用機械器具等性能検査

四月二〇日、本年も有事に備えるために、川崎市総合訓練場において、小型動力ポンプ及び付属品、消防ホース、積載車などの総合点検を実施いたしました。

### 川崎市総合水防訓練

五月二十六日、多摩川河川敷の二ヶ領せせらぎ館付近において、川崎市総合水防訓練が開催されました。

日本に二台しかない、二本のアームを持つ重機「アスタコ」も登場し、参加した約八十名の消防団員は、関係各局と共に、土のう作成やマンホール噴出防止工法などの訓練を行いました。

また、消防団機動部隊も自分たちが所持する重機を使って、救出訓練を行いました。



2013年度全国統一防火標語

「消すまでは

心の警報

ONSOおんそ」

### 多摩消防団広報部

- 本団広報部長 井田 久
- 生田分団部長 齊藤嘉章
- 稲田分団部長 飯嶋利幸
- 生田分団団員 古谷典久
- 生田分団団員 山方治男
- 生田分団団員 荒井 稔
- 生田分団団員 結城 実
- 稲田分団団員 保田昌彦
- 稲田分団団員 若林実継
- 稲田分団団員 伊藤正則
- 稲田分団団員 元木博之
- 稲田分団団員 平糠 毅

### 編集後記

今号より新体制で編集に臨む事になりました。「多摩消防団だより」第十二号発行に際し、御協力頂きました皆様にこの場より厚く御礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同